

災難続きの令和4年前半

令和4年も半分以上が過ぎました。今年は1月時点ではまだコロナ禍がおさまっておらず、2月のウクライナへのロシアの侵攻がそれに輪をかけ、円安、様々な物資の高騰、物価高、6月から始まる猛暑日、7月の梅雨明け後の長雨や集中豪雨とそれによる各地での水害被害、その中のコロナ感染者数の再拡大での第7波と、8月に入つての中国による台湾周辺での軍事演習など、日本だけでなく世界中がおかしな状況になっていきます。どうも2019年以降の令和の時代になってからというもの、世間が落ち着いた状態になることがない状況が続いています。その中でも衝撃的だったのが、6月の参議院議員選挙の選挙運動期間中の安倍晋三元首相の襲撃事件だったのではないでしょうか。筆者の学生時代に騒がれていた元統一教会という名を久々に耳にしたような気がします。なお、学生諸君に聞いてみると、そもそもオウム真理教なら知っているが、「統一教会」というカルト集団の名前さえ知らないような現状に、時代の流れというものを感じ、驚かされています。

それにしても、今年の前半は災難続きで、水害被害に見舞われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。戦争や武力威嚇、テロといった人間のもたらす災害というものも恐ろしいですが、猛暑を含めて自然の脅威というものを毎年感じずにはいられない

い今日この頃です。

平常に戻った令和4年度前期

神戸大学のキャンパスはといえば、ようやく対面授業が復活し、キャンパスに学生の賑わいが戻ってきました。現在（執筆時）は前期末試験の最中で、学生諸君は猛暑の中頑張っているものと思います。この後、お盆休みが開けるとオープン・キャンパスも始まり、学生だけではなく、久しぶりに高校生もキャンパスにやってくる予定になっていますし、8月末になれば各研究科での大学院入学試験も始まります。今年度前期の講義は、対面式を原則としながらも、健康上の都合でオンラインでの受講を希望する学生には要配慮者との認定を受ければオンラインで講義を配信するというハイブリッド形式を交えて運営されていきました。学生の中にはオンラインでの受講に慣れてしまつて、大学への登校を面倒に感じている者もいますが、概ね順調に講義は進み、無事に試験期間へと入っています。

ただ、かつてのように、キャンパスの生協食堂や売店がずつと開いているという状態ではなく、昼休みを中心にした時間帯にしか営業されていないために、キャンパスの周りに喫茶店や売店のない神戸大学では不便さを感じずにはいられず、講義が終了するとさっさと六甲あるいは六甲道に下山してしまう学生も多く、正門前のバス停には講義終了とほぼ同時に学生の長蛇の列ができあがっている光景をよく見かけます。特に、12時10分の2限の講義が終了した直後は、正門前のバス停は混雑し、下りのバスも満員状態になっているのを目にするようになりま

した。7月のコロナ感染再拡大に際しては、神戸大学の学生にも感染者が増加して、試験前の数週間の講義は主としてオンラインで実施するとの変更措置もとられました。これは、試験をオンラインですることの問題を可能な限り回避するという目的での、やむを得ない措置だったかなという気がしています。ただ、コロナ感染再拡大のため、前記の期末試験では追試験を希望する学生の数が増加しているという噂も耳にしています。

しばしば目にするマナーの悪さ

キャンパスに学生が戻ってきて、ようやく大学としての活気が生まれてきたことに対応してなのですが、オンラインでの講義が中心であった昨年度から、神戸大学のキャンパス内全域が禁煙になっています。かつては各キャンパス内に数か所、喫煙所が設置されていたのですが、それも廃止され、完全禁煙になったためか、正門前の路上や六甲台バス停の路上、六甲台キャンパスの横にあるURの敷地付近で喫煙する学生や関係者が多く出現しているようで、各学部・研究科の事務室には近隣住民からの苦情の電話がしばしばかかってくるようです。そこで、学生には注意喚起の意味で教員から路上、キャンパス周辺での喫煙、吸い殻のポイ捨てをしないよう呼び掛けているような次第です。

さらに、正午前後の大学へ上がってくるバスでは、一般住民の方々が買い物帰りで乗ってこられるのですが、ちょうど午後からの講義に出席しようとする学生とバッティングして非常に混雑しています（正午前後は登りも下りもバスは混雑し

ています）。その中でしばしば見かけるのが、バスの車内でマスクをしているためか大声でしゃべっている学生や、優先座席に座って明らかにフラフラしている老人や小さな子供連れのお母さんを立たせたまままで平気な顔をしている学生、混雑しているバスの中で何の用事かわからないけれどもスマホを眺めて周りの乗客と接触している学生など、どうもコロナ禍での外出自粛のためか、公共交通機関や公共の場でのマナーというものを忘れてしまっているような風景をよく目にします。一度、目の前に杖を突いた老人が立っているにもかかわらず、優先座席に座ってスマホを必死に見ている学生に、「君は目の前の老人に気づいていないのか」と注意をしたところ、「先生が学生に無理に席をゆずれと強要するのはバワハラだ」と文句を言われてしまい、筆者も神戸大学の教員に見えるのかという点でホッとしたもの、学生の文句には閉口してしまいました。筆者が若かった時代もそうだったのかもしれませんが、最近の若い学生のマナーの悪さが目に余ると感じるのは、筆者も歳をとったということなのでしょう。神戸大学ではハラスメント事案が増えているために、教員に対しては様々な教育的観点からの措置が実施されていますが、学生に対してはマナー講座のようなものを実施する必要があるのではないかとこの気分になってきます。

令和3年度事業報告について

当財団の令和3年度の事業報告及び財務諸表につきましては、令和4年6月7日に開催された理事会及び6月28日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認され、6月

29日に兵庫県に定時報告いたしました。

当財団をご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも(1)学術交流促進・学術成果公開助成事業、(2)教育の充実助成事業等、当財団が行う主要な事業の概要について、財務諸表の要旨と併せてご報告させていただきます。

令和3年度では、学術交流の促進と学術成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施すべく事業計画を立てていきましたが、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から教員、学生に対する様々な活動が制限され、教員の海外派遣支援、国外でのシンポジウム開催支援、学生の海外派遣支援等の事業については計画どおりには実施できませんでした。なお、教員の海外派遣支援で実施できなかった分については、令和4年度に繰り越して実施することにしました。

学生の大学内入構が制限される中、「キャリア形成支援」(六甲台就職相談センター支援)は、WEB面談と並行して対面での面談を実施しました。また、凌霜出身者の講師による寄附講義「社会科学の実践」(学部1・2年生対象)は、授業が受けやすいように対面及びオンラインのハイブリッド方式で実施するなど、例年とは異なる環境での実施となりました。

毎年、ご報告しております科学研究費獲得を推進するための「研究プロジェクト支援」事業において1件を助成した結果、1件が令和4年度科学研究費の補助金交付内定を受けたことをご報告いたします。

凌霜会会員の皆様には今後とも、本財団に対して、従前と同

様のご協力とご支援を賜りますますようよろしくお願い申し上げます。

事業報告の概要(金額は千円未満四捨五入)

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業 11,950千円
1・1 学術交流の促進・・・10,750千円

(1) 海外研究活動支援(海外研究活動や海外学会派遣等への支援)・・・5,800千円

○経営学研究科

・ TONGURAI JITTIMA 教授(令和3年4月～令和4年3月、タイ)

目的…環境金融(グリーン・ファイナンス)と持続可能な開発

―日本と東南アジアの新興市場国からのエビデンス

○法学研究科

・ 東條明徳教授(令和3年11月～令和5年9月、イタリア)

目的…イタリア刑法学の歴史的・比較法的研究

―実行の着手論を中心に

・ 箕原俊洋教授(令和3年9月～10月、オランダ)

目的…セオドア・ローズヴェルトと日米関係

(2) 学会・シンポジウム等開催支援・・・4,950千円

○経営学研究科

・ 「プレMBAの知的武装」刊行記念シンポジウム

期間…令和3年8月

場所…ブリーゼプラザホテル(梅田)

・ 「経営学の開拓者たち」刊行記念シンポジウム

期間…令和3年11月

場所：ANAクラウンプラザホテル神戸

○国際協力研究科

- ・「南極研究科学委員会(Scientific Committee on Antarctic Research) 人文社会科学常設委員会(Standing Committee on the Humanities & Social Sciences) 学術研究大会を中心とした極域関係国際シンポジウム

期間：令和3年11月

場所：神戸大学(対面・オンライン開催)

○経済経営研究所

- ・The 12th International Conference of THE JAPANESE ACCOUNTING REVIEW

期間：令和3年11月

場所：神戸大学(オンライン開催)

1・2学術成果の公開・・・・・・・・・・1,200千円

(1)学術研究成果刊行支援・・・・・・・・・・1,200千円

○経済経営研究所

- ・神谷和也著「マイナス金利とコロナ禍の環境の下での地域金融機関の経営の現状と課題―逆境をいかに乗り越えるか―」

中央経済社

2教育の充実助成事業

8,107千円

○学部学生に対する支援

(1)社会科学特別奨励賞・・・・・・・・・・922千円

経済学部・経営学部・法学部の学部学生(2年生～4年生)

の成績最優秀者への奨学金支給

(2)六甲台賞・・・・・・・・・・316千円

経済学部・経営学部・法学部卒業生の成績最優秀者へ授与

(3)各学部における各種教育プログラム支援・・・・・・・・400千円

・経済学部：IFEEK(5年一貫経済学国際教育プログラム)

(4)寄附講義開講支援・・・・・・・・・・270千円

・凌霜会・六甲台後援会寄附講義「社会科学の実践」

(5)相互履修科目開講支援・・・・・・・・・・1,119千円

3学部相互履修プログラム

・経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、
エッセンシャル・マクロ経済学

・経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

・法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

(6)キャリア形成教育支援・・・・・・・・・・1,700千円

六甲台就職相談センター支援

○大学院学生に対する支援

(1)各研究科における各種教育プログラム支援

・・・・・・・・・・1,570千円

・経済学研究科：大学院生の研究活動支援

・法学研究科：卓越した大学院拠点形成による若手研究者

養成

・・アジア法と紛争管理のサマースクール

・・法科大学院共通到達度試験支援

(2)法学研究科(専門職学位課程)エクスターンシップ実施支援

・・・・・・・・・・1,000千円

(3)神戸大学MBA加護野忠男論文賞・・・・・・・・・・210千円

該当年度に発表された神戸大学MBA全論文の内、特に優

れた論文に授与

○特定基金による学生教育支援

(1) 久研究奨学基金による I F E E K 生の大学院進学助成 600千円

3 学術研究助成事業

(1) 研究プロジェクト支援 300千円

○法学研究科

・手嶋 豊教授 . . . 少子高齢化社会福祉システムの多文化化・

スマート化・包括化に関する国際比較研究

(2) 社会システムイノベーションセンター(社会科学系研究分野)

支援 2,000千円

・部門活動支援費

(3) 裏山研究奨学基金による学術研究に対する支援 500千円

(4) 経営学研究科 1,200千円

・ N P M 関連データサービス

4 事業費付帯経費 12,517千円

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

今年も凌霜会会誌7月号に凌霜会会員の皆様へ「ご寄附のお願い」を同封させていただきました。8月5日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に、吉川崇浩様(平19法) 1千円、芝元憲太郎様(平9経済) 2千円、川崎貴文様(昭28経済)、佐藤真名様(昭28・佐藤英和様のご子息)、守屋五郎様(昭31経営)、平山和孝

様(昭49経済) 各3千円、風早正幸様(昭43経営)、柴田孝生様(昭55経営) 各5千円、風早正幸様(昭43経営)、多田 葵様(平27法)、中村滋彦様(昭60経済)、池田浩久様(昭58経済)、高城和憲様(昭45経済)、山下州弼様(昭43経営)、團野廣一様(昭31経営)、松島茂樹様(平元法)、三島 明様(昭54経済)、橋本一豊様(昭31経営)、大辻茂雄様(昭46経営)、松田兼太郎様(昭43経営)、森原大造様(平3法)、木村勝實様(昭42法)、樋口俊夫様(昭43法)、岡田 彬様(昭37経営)、田中洋介様(昭57経営)、進藤政和様(昭45経済)、押上重郎様(昭45経営)、小林泰明様(昭51経済)、関口年弘様(昭42経営)、岡島源一郎様(昭43経営)、岩崎 隆様(昭47経営)、松田 武様(昭43経営)、松尾 匡様(平4経済学研究科)、井野節子様(平15経済)、出原 敏様(昭47法)、立野靖人様(平15経営)、莊林康次様(昭38法)、石原公栄様(昭43経営)、三和正明様(昭42経営)、杉田文夫様(昭36経済Ⅱ)、小林和雄様(昭48経営)、有田喜一郎様(平22経営学研究科 M B A)、溝口文雄様(昭36経済) 各1万円、藤原潤一様(昭46法)、小幡浩士様(昭42法)、貝原國士様(昭28)、武貞文隆様(昭51経営)、法花敏郎様(昭45経済)、高谷晋介様(昭49経済) 各2万円、小野俊明様(昭36経済Ⅱ)、平井三郎様(昭27)、宇佐美禎三様(昭32経済)、平位和子様(平3経営)、岸本義一様(昭56経営)、小暮一寿様(平元経済)、高橋雄三様(昭35経営) 各3万円、番 尚志様(昭44経営)、鶴 浩一様(昭32経済)、小澤靄史様(昭34経済)、瀧端美博様(昭49経済)、片桐 陽様(昭40経済)、戸田 宏様(昭38経済)、正司健一様(昭52経営)、匿名様(昭45経営)、吉田 健様(昭

32法)、宮下國生様(昭41経済)各5万円、曾根 準様(昭34
経営)、段野治雄様(昭40経済)、尾野俊二様(昭48経済)、坂
井信也様(昭45経済)、岡田信吾様(昭43経済)、竹内郁夫様(昭
60経済)、鳴戸大二様(昭46法)、藤原利成様(令2経営)、平
松秀則様(昭42経営)、高田順甫様(昭29法)、宮野 淳様(昭
42経営)、新垣恒則様(昭40経営)各10万円ご寄附いただきま
した。お陰様で、令和4年4月以降の寄附金額は290万7千
円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。
よろしくお願い申し上げます。また、本財団ホームページから
もご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバ
ンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。
よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合(メール・電話・FAXでも結構ですから、
送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入くだ
さい)

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

専用の郵便払込取扱票により、郵便局の窓口からお振り込み
いただく場合は、手数料はかかりませんが、郵便局の
制度変更により令和4年1月17日からのご寄附は、現金でご

寄附される場合は、加算料金110円が必要となりました。
なお、ゆうちょ銀行の通帳(払戻し請求書が必用)又はキャ
ッシュカードご利用の場合は、加算料金はかかりません。詳
しいことは郵便局の窓口にお尋ねください。

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附
いただけます。 <http://www.rokkodafund.com>

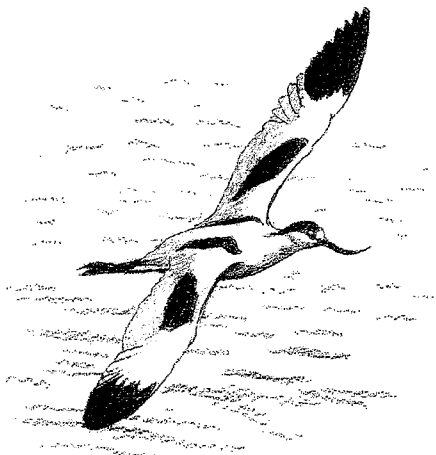
〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078)861-3013

E-mail:k-koenkai@rokkodafund.com



ソリハシセイタクシギ
珠二郎